

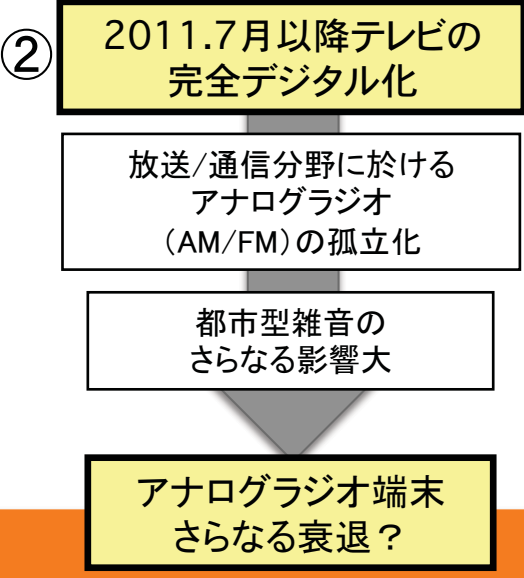
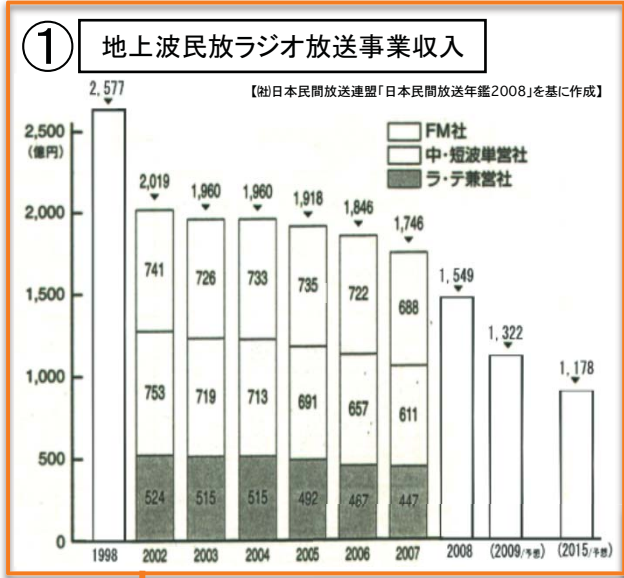
V-Low帯全国ソフト連絡会 説明資料

V-Low帯域 参入への考え方

1. その理由と背景、そして目的
2. 参入希望調査時のV-Low帯への枠組み
3. 受信端末とサービスイメージ

TBSホールディングス 文化放送 ニッポン放送
MBS毎日放送 ABC朝日放送 ラジオ大阪 QBC FM802 CBC中部日本放送 東海ラジオ
HBC北海道放送 STVラジオ TBC東北放送 RCC中国放送 +rkb 毎日放送 KBC九州朝日放送
他、全国AMラジオ事業者、独立FM事業者(関東甲信越を除く)
(V-Low帯全国ソフト連絡会)

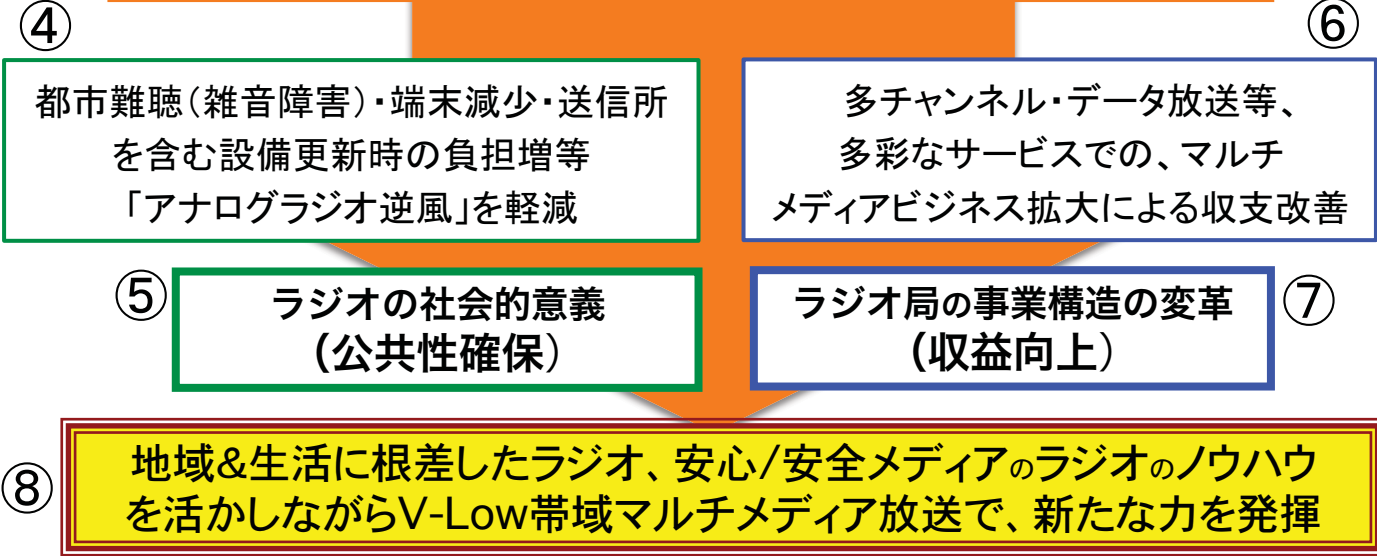
V-Low帯域 参入への考え方～(1)その理由と背景、そして目的



③ アナログ送信設備の維持/更新

ニッポン放送木更津送信所
(55,503 m²) = 16,819坪
東京ドーム = 46,755 m²
更新費用(試算)
約20億円+土地取得費用

V-Low帯域への参入 & アナログラジオ(端末)のデジタル化



⑨ デジタル化と平行してラジオ事業の再編統合
メディア別のマス排緩和の要望

連結送信による送信設備の負担軽減

V-Low帯域 参入への考え方～(2) 参入希望調査への枠組み

① 平成21年7月11日 携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備に関する基本的方針(案)

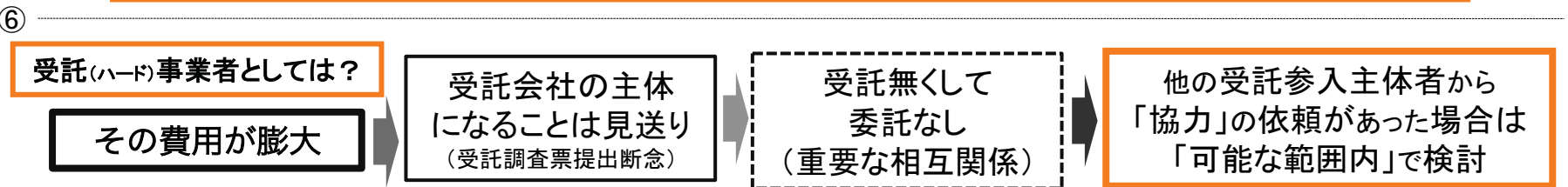
② 【(案)に対する意見募集】→「エリア(県域/ブロック内ブロック)」、「アナログサイマル放送」「デジタル移行」等に関する
 (パブリックコメント) 様々な意見を各局ごとに(一部団体)提出

平成21年 8月28日 携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備に関する基本的方針 → 参入希望調査へ

<p>④</p> <p>【北海道ブロック】</p> <p>HBC STV northwave:82.5:他</p> <p>北海道 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【東北ブロック】</p> <p>RAB青森放送 rctラジオ福島 TBC東北放送 他</p> <p>東北 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【近畿ブロック】</p> <p>MBS毎日放送 ABC朝日放送 FMB02 ラジオ大阪 OBC 他</p> <p>近畿 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【関東甲信越ブロック】</p> <p>TBSホールディングス 文化放送 ニッポン放送 他</p> <p>関東甲信越 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【東海北陸ブロック】</p> <p>CBC 東海ラジオ ZIP-FM KNB 他</p> <p>東海北陸 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【中国四国ブロック】</p> <p>RCC中国放送 RSK 山陽放送 南海放送 他</p> <p>中国四国 デジタル放送(株)(仮)</p>	<p>【九州沖縄ブロック】</p> <p>KBC九州朝日放送 NBC長崎放送 rkb 他</p> <p>九州沖縄 デジタル放送(株)(仮)</p>
---	---	---	--	---	---	--

⑤ 携帯端末向けマルチメディア放送(V-Low地方ブロック向け)に委託事業者として参入希望

※巻末資料
ご参照



⑦

置局などの技術的検討や受信機の速やかな普及はもとより、
 受託(ハード)事業に関しても主体的な役割を果たす重要な存在
 = **NNK**の参入無くして、我々の参入は不可能 =

→ **NNK**の
 当該帯域への参入を
 強く希望

地方ブロック向け携帯端末向け
マルチメディア放送は
受信端末が『ゼロ』から

今後の普及、ビジネスモデル確立
さらにはV-highとの連携を図る為
『携帯電話端末』が中心

想定する受信端末



① 携帯電話ではその通信機能、併用することで
「音声放送」のみならず「マルチメディア放送」機能を最大限に発揮させたい

今回のサービスは
『放送』

国民の安全、安心、
文化の健全な発展を目指す

『簡便、安価な受信機＝ユニバーサル受信機』
の開発、普及にも最大限の努力を

②



携帯ラジオ



カーラジオ & カーナビ



携帯音楽端末



CDラジオ



フォトフレーム



ゲーム機



パソコン

今後拡大が予想されるWiMAX/Wi-Fi環境を「音声放送」のみならず「マルチメディア放送」機能を最大限に発揮させたい



『安心社会実現』の為に…受信端末の“コモディティ化”～あらゆる家庭電化製品/通信端末に
緊急地震速報+EWS機能(緊急警報放送システム)を付加したV-Lowサービス受信機搭載も…



③

【リアルタイム放送】

音楽、ニュース、趣味などのジャンルを限定した専門チャンネル(複数チャンネルを予定)

無料

地域情報を中心とした総合編成チャンネル
(複数チャンネルを予定)



「Tagging」、クーポン配布等のマルチメディアサービス

想定するマルチメディアサービス例

【蓄積型放送】

④

有料

オリジナル番組等のダウンロード
(※携帯電話やPC上で認証課金)



「音楽」「書籍」等の様々なダウンロードサービス

【その他】

無・有料

⑤

特定受信設備に対する
リアルタイム放送または蓄積型放送
(デジタルサイネージ
やポイント付与など)



※関東甲信越デジタル放送圏～仮～の想定

資料

V-Low携帯端末マルチメディア放送 参入希望調査 各ブロックの主な記載事項のまとめ

関東甲信越デジタル放送(株)～仮
<p>㈱ニッポン放送、㈱文化放送、 ㈱東京放送ホールディングス、㈱栃木放送、 ㈱茨城放送、㈱アール・エフ・ラジオ日本、 ㈱新潟放送、信越放送㈱、㈱山梨放送 他</p>
5セグメント以上
<p>【リアルタイム放送】(無料) ①音楽、ニュース、趣味などのジャンルを限定した専門チャンネル(複数チャンネルを予定) ②地域情報を中心とした総合編成チャンネル(複数チャンネルを予定)</p> <p>【蓄積型放送】 ①300円/月=オリジナル番組 (※携帯電話やPC上で認証課金) ②100~200円/本=オリジナル番組 (※携帯電話やPC上で認証課金) ◎その他、特定受信設備に対するリアルタイム放送または蓄積型放送(デジタル対応やポイント付与など)</p>
※1=想定する受信設備(共通)
今後想定される、多様なマルチメディア放送サービスの受信機能が望ましい
<p>アナログ停波後1年以内を目途とし、認定からは概ね1.5年~2年と想定~受託事業者の置局計画に拠る(委託放送業務用の設備購入、番組供給者の選定・契約、データ放送等の制作体制及び放送体制の構築、広告宣伝活動)</p>
東北デジタル放送(株)～仮
<p>青森放送㈱、㈱秋田放送、㈱アイビーシー岩手放送、 東北放送㈱、山形放送㈱、㈱ラジオ福島、その他 ブロック内放送事業者以外の新規事業者</p>
2セグメント
<p>【リアルタイム放送】(無料) ①地域情報を中心とした総合編成チャンネル(音声ストリーム、交通情報サービス、サイネージ、緊急地震速報及び受信機支援のためのコンサールサービス等) ②その他ブロック内放送事業者以外の新規事業者によるサービス提供等(今後検討) 【蓄積型放送】100~200円/本=オリジナル番組の販売~携帯電話やPC上で認証課金</p>
<p>※1=想定する受信機~第一世代として、ワンタッチで簡単に開ける”簡易型”受信機で、家庭でも外でも車でも、現在のラジオ受信機を進化させた簡単操作の受信設備を想定。言い換えればワンタッチして生産コストを抑えた受信機で、家電商品とのコモディティ化により、普及を狙った受信設備を想定している。</p> <p>第二世代としては、簡易型受信機による高音質音声サービスに加えてダウンロード機能を有したいわゆる”多機能型”受信機を想定し、利用者が多種多様なサービスを受けられるようなメディア拡張型の受信設備を想定している。</p>
※2 受信設備の条件(共通=特になし)
当該放送地域のサービス開始は、東名阪ブロックでのサービス開始から3年目を想定(受託会社の置局計画に拠る)

近畿デジタル放送(株)～仮
<p>㈱毎日放送20%、朝日放送㈱20%、大阪放送㈱20%、 ㈱FM802 20%、その他 20% (㈱ラジオ関西、 ㈱京都放送、関西インターメディア㈱、 ㈱エフエム京都、㈱和歌山放送ほか) (議決権比率は平成21年11月2日時点での想定)</p>
5セグメント
<p>【リアルタイム放送】(無料) ①地域情報を中心とした総合編成チャンネル(ブロックチャンネル) ②特定ターゲット向けチャンネル(ブロックチャンネル) 【蓄積型放送】 ①有料コンテンツは100~200円/本(オリジナルコンテンツの販売及び無料コンテンツのダウンロード(有料コンテンツに関しては携帯電話やパソコンでの認証)</p>
※1=想定する受信設備(共通)
※2 出来れば液晶等表示画面がある方が良い。
<p>VHF-LOW帯のアナログテレビ終了後、約1年後のサービス開始を目標(受託事業者の置局計画による) ・委託放送事業者としての放送用設備等構築(約9ヶ月~1年) ・受託放送事業者との帯域使用料に関する交渉(約6ヶ月) ・番組編成及び使用帯域の割り振り(約6ヶ月) ・放送番組(データ放送部分等含む)の制作体制構築(約6ヶ月~9ヶ月) ・広報・宣伝活動(約6ヶ月~1年) ・番組企画・制作(企画約6ヶ月、制作約1ヶ月~2ヶ月) ・営業活動(約6ヶ月) ・試験放送(受託放送事業者へのTSでの送り込み)(約1ヶ月~2ヶ月) ・権利処理・交渉(約3ヶ月)</p>

中国四国デジタル放送(株)～仮
<p>㈱中国放送 山陽放送㈱、山口放送㈱、南海放送㈱、 西日本放送㈱、他放送事業者、その他ブロック内 放送事業者以外の新規事業者</p>
2セグメント
<p>●マルチメディア機能を付加した現行アナログサイマル放送(ブロック向け)が基本。 【リアルタイム放送】(無料) ①地域情報を中心とした総合編成チャンネル(マルチメディア機能を付加したブロック向け現行アナログサイマルチャンネル) ②特定ターゲット向けチャンネル等(その他ブロック内放送事業者以外の新規事業者による新規ブロックチャンネル~今後検討) 【蓄積型放送】100~200円/本=オリジナル番組の販売~携帯電話やPC上で認証課金</p>
※1=想定する受信設備(共通)
※2 受信設備の条件(共通=特になし)
中国・四国のサービス開始は、東名阪ブロックでのサービス開始から3年目を想定(受託会社の置局計画に拠る)

東海北陸デジタル放送(株)～仮
<p>中部日本放送㈱、静岡放送㈱、東海ラジオ放送㈱、 ㈱岐阜放送、㈱ZIP-FM、北日本放送㈱、北陸放送㈱、 福井放送㈱、その他東海・北陸ブロック放送事業者、 その他事業者</p>
4セグメント
<p>【リアルタイム放送】(無料) 総合編成、天気予報、ニュース 【蓄積型放送】(現状では無料) ミュージッククリップ、書籍、</p>
※1=想定する受信設備(共通)
<p>※2 将来的には有料放送も視野に入れているため、認証・課金を実施するための通信回線を持つ受信設備が必要。</p>
※3 課金認証他(東海北陸)
<p>TVアナログ停波後1年以内を目途とし、認定からは概ね1.5年から2年と想定(受託事業者の置局計画に拠る)。 必要な作業は下記のとおり。 ・委託放送事業者としての放送用設備等構築(約9ヶ月~1年) ・受託放送事業者との帯域使用料に関する交渉(約6ヶ月) ・番組編成及び使用帯域の割り振り(約6ヶ月) ・放送番組(データ放送部分等含む)の制作体制構築(約6ヶ月) ~9ヶ月) ・広報・宣伝活動(約6ヶ月) ~1年) ・番組企画・制作(企画約6ヶ月、制作約1ヶ月~2ヶ月) ・営業活動(約6ヶ月) ・試験放送(受託放送事業者へのTSでの送り込み)(約1ヶ月~2ヶ月) ・権利処理・交渉(約3ヶ月)</p>

九州沖縄デジタル放送(株)～仮
<p>RKB毎日放送㈱・九州朝日放送㈱・㈱大分放送 ・長崎放送㈱・㈱熊本放送・㈱宮崎放送・ ㈱南日本放送・琉球放送㈱・㈱ラジオ沖縄・ ㈱cross fm・㈱九州国際エフエム(以上九州 沖縄ブロック内放送事業者)及びその他ブロック内放送事 業者以外の新規事業者。</p>
2セグメント
<p>(九州沖縄内ブロック放送事業者の使用帯域及び新規事業者の参入や規模によっては使用セグメントが増減。検討結果による)。</p>
<p>●マルチメディア機能を付加した現行アナログサイマル放送(ブロック向け)が基本。●新規サービスについては当面、放送事業者以外の事業者によるサービスを想定。●アナログ音声放送事業者からの移行を前提とする。 【リアルタイム放送】(無料) ①地域情報を中心とした総合編成チャンネル(マルチメディア機能を付加したブロック向け現行アナログサイマルチャンネル) ②特定ターゲット向けチャンネル等(その他ブロック内放送事業者以外の新規事業者による新規ブロックチャンネル~今後検討) 【蓄積型放送】100~200円/本=オリジナル番組の販売~携帯電話やPC上で認証課金</p>
※1=想定する受信設備(共通)
※2 受信設備の条件(共通=特になし)
※4~加入手続き、課金、認証
当該ブロックのサービス開始は、東名阪ブロックでのサービス開始から3年目を想定(受託会社の置局計画に拠る)

北海道デジタル放送(株)～仮
<p>北海道放送㈱、㈱STVラジオ、 ㈱FMノースウェーブ、その他新規参入事業者</p>
2セグメント
<p>【リアルタイム放送】(無料) ①地域情報を中心とした総合編成チャンネル(マルチメディア機能を付加したブロック向け現行アナログサイマルチャンネル) ②特定ターゲット向けチャンネル等(その他ブロック内放送事業者以外の新規事業者による新規ブロックチャンネル~今後検討) 【蓄積型放送】100~200円/本=オリジナル番組の販売~携帯電話やPC上で認証課金</p>
※1=想定する受信設備(共通)
※2 受信設備の条件(共通=特になし)
当該放送地域のサービス開始は、東名阪ブロックでのサービス開始から5年目を想定(受託会社の置局計画に拠る)

- ◎各ブロック記載事項~上段から「参入主体の氏名、又は称」「参入主体の主な出資者」「希望する周波数」「想定するサービス内容」「想定している受信設備=※1」「受信設備に必要な条件=※2」「サービスの開始時期」
- ◎「想定している受信設備=※1」の共通記載事項~「モバイル&ポータブル端末(携帯電話、携帯プレイヤー、携帯ラジオ、ポータブルワンセグ、キッチンラジオ…)、車載ラジオ、ワンセグ付カーナビ、オーディオコンポ、パソコン、USBチューナー、デジタルフォトフレームなど」
- ◎※3(東海北陸=認証課金他) ①加入手続き~未定。VHF-LOW帯マルチメディア放送推進協議会にて検討のものを採用する予定。②認証~未定。VHF-LOW帯マルチメディア放送推進協議会にて検討の運用規程に準ずる予定。③課金~未定 その他~通信による補充~そのような予定はない。ただし、VHF-LOW帯マルチメディア放送推進協議会において検討された場合、それに準ずる。
- ◎その他。共通記載事項
 ①加入手続き~有料のリアルタイム放送ではなく都度課金によるコンテンツ販売などを検討(北海道/東北/中国四国/九州沖縄~販売を想定)。この場合の(北海道/東北/中国四国/九州沖縄~このサービスの)受信設備は携帯電話やPCを想定しているため当該のインターネットサービスを利用する②認証~携帯電話やPCのインターネットサービスを利用した認証・課金を行う③課金~携帯電話やPCのインターネットサービスを利用した認証・課金を行う④通信回線による番組補充~今後検討予定
- ◎※4(九州沖縄)~上記、加入手続き、認証、課金の文章の冒頭に「有料放送を行うかどうかは未定だが、仮に行う場合は、…」が付加。

2009.11.2現在